



## 福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	クラピアを用いた緑化防草技術のご紹介
Alternative_Title	Introduction of greening and weed control technology using kurapia
Author(s)	門馬 直宣(グリーンプロデュース), 大出 真隆(グリーンプロデュース) Momma, Naonobu(Green Produce Co., Ltd.); Ode, Masataka(Green Produce Co., Ltd.)
Citation	第 12 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.31 The 12th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	セッション 5 : 地域の将来像構築への取り組み
Text Version	Publisher
URL	<a href="https://f-archive.jaea.go.jp/handle/faa/277801">https://f-archive.jaea.go.jp/handle/faa/277801</a>
Right	© 2023 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 12 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



## クラピアを用いた緑化防草技術のご紹介

○門馬直宣<sup>1</sup>・大出真隆<sup>1</sup>

1：株式会社グリーンプロデュース

クラピアは農林水産省に品種登録されている在来種イワダレソウの改良品種です。芝と違い、ランナーが地面を匍匐しながら伸長し、節毎に根を地面に下ろす特徴があります。横に伸長する特徴から、葉は積層し他の雑草の発芽抑制・伸長抑制をし、表面土壌の粉塵防止にも貢献します。また、花が長期間に渡り咲くことから景観美化になる事や、生物多様性も確認できますので生態系を破壊する事無く維持管理する事ができます。芝と違い縦に伸び難い特徴もあり、刈り込み頻度を低減できますのでランニングコストの低減ができます。

現在研究中ではありますが、節毎に下ろす根は1m以上地下に下ろす事が確認されております。根の量が多い事から土留めの効果が高い事や、二酸化炭素の地下固定能力の高さから根を通じての地中へのCO<sub>2</sub>貯留効果が期待できます。

植栽方法は、直植え工法に加え、防草シートを併用した防草シート工法、アルカリ資材にて土壌改良を行った土壌での工法など施工現場に合わせた工法をご提案できます。

中間貯蔵施設等へクラピアを植栽する事により、雑草を低減する事ができ、芝とは違い刈り込み頻度を低減または一切刈り込み不要となりますので、廃棄物の問題も低下させる事ができます。

Introduction of greening and weed control technology using Kurapia.

Momma naonobu<sup>1</sup>, Ohde masataka<sup>1</sup>

(1Green Produce Co., Ltd.)